1 月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成27年1月29日（木）13時58分～15時13分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、古場委員長職務代理者、前田委員、河内委員、
浦郷教育長
事務局：溝上教育部長、諸岡こども部長、井上教育部理事、
大宅教育総務課長、徳永学校教育課長、牟田未来課長、
杉原図書館・歴史資料館長、山頭学校教育課参事、
樋渡教育総務課総務係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【前田委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成26年12月定例教育委員会会議録 【原案どおり承認】
- 8 教育長の報告 前回以降の報告
 - 1 新市長が就任されました。
 - 2 児童・生徒の活動について
 - 3 校舎等の改修について
 - 4 官民一体型学校について
 - 5 ICT教育の推進について
 - 6 社会教育について
 - 7 その他
- 9 議 事
 - (1) 提出議案
 - 議案第28号 武雄市体育施設設置条例施行規則の一部を改正する規則
【原案どおり議決】
 - 議案第29号 平成27年3月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正について
【原案どおり議決】
 - (2) 報告事項
 - ① 平成27年3月定例市議会へ提出される教育関係条例の一部改正について
 - ② 学校給食費の改定について
- 10 各課等からの報告
- 11 次回開催日程について
【平成27年2月19日（木）14時00分～ 市役所4階会議室】

- 12 その他
- 13 閉会
- 14 会議録

午後 1 時58分 開会

○委員長

1年のうちで一番寒い時期のようですが、その中の一日でも冬日和というような穏やかな日があると、ヒバリが一生懸命鳴いております。そして、次寒くなると、もういません。少しずつ春への気持ちを高ぶらせてくれるような田舎の最近でございます。

では、1月の定例教育委員会を始めたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

まず、議事録署名人でございますが、今度は前田委員さんでございます。お願いいたします。

では、前回の会議録の承認でございますが、12月24日定例の教育委員会の分でございます。何か訂正等ありましたでしょうか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

そしたら、記録のとおり承認することといたします。

次、教育長の報告でございます。教育長お願いいたします。

○教育長

前回以降のことについて報告をいたします。

まず、御承知のとおり、新市長が就任されまして、小松新市長は教育に関して、大事なのは、この21世紀、将来を見据えてどういう教育をしたいのか、武雄の子どもたちをどう育てたいのかという1点にあるというような言い方をされております。

また、選挙期間中の発言等見ましても、これまでと方向性としては同じであろうと思っておりますし、そういう基本線を捉えて、これまでの教育施策を充実させつつ、未来を見据えて進めていきたいと考えているところでございます。

それから、きょうお手元に差し上げていると思いますが、2月からの新しい教育委員さんが決まっております。

それから、児童・生徒についてであります。インフルエンザがやはり流行してございまして、小・中学校ともに学級閉鎖等がずっとあっております。

それから、昨日が県立中学校の合格者発表があつてございまして、最終的にはまだ迷つておられる人もおられると思いますので、学級編制に影響してきますので、動向には注目をしているところでございます。一方で、小学校での進路指導というところで気を配ってもらっているところでございます。

3つ目としまして、校舎等の改修については、先日、山内中のオープニング・セレモニーを開催したところでありますし、この後、外構工事等をしていただきます。武雄中の武道場

も完成しております、既に使い始めております。

4点目に、官民一体型学校についてであります、1月17日、18日の両日、現地を見ていただく巡回ツアーをお住もう課と一緒に実施いたしました。実施後のアンケート等でも非常によい印象を持っていただいているということを感じております。地域活性化にもつながるものでありますので、推進していきたいというふうに思っております。

今週末は花まる学習会の高濱代表も見えられて、武内小・東川登小合同の研修会も予定されております。

5点目として、ICT教育についてであります、来年度4月からの中学生へのタブレット配布に向けて準備を進めてもらっております。明日が御船が丘小学校で研究発表会が開催されます。既にもう300名を超える県内外からの参加申し込みがあつていると聞いているところでありまして、これまで指導助言いただきました松原聡先生の講演等予定されておりました、これまでの歩みとこれからを展望した大事な講演になろうかと期待をしているところです。

それから、今年度途中から入りました総務省・文科省の先導的ICT教育推進事業であります、県の教育情報課とやりとりしながら進めているところでございます。

それから、山内西小学校でのプログラミング教育であります、2月12日が最終となります。最終回は山内の農村環境改善センターで開催して、子どもたちの作成した作品を発表してもらおう予定であります。御承知のとおり産学官連携として協力いただきましたDENAの南場代表、それから東洋大の学長さんもお見えになるという予定でございます。

それから、先日の市連Pの懇談会でも協議をしてもらいましたが、情報モラル等に関しては、別に案という、こういうのを心配しているかと思えますけれども、会長様方の話でもできるだけ早く取り組んだ方がいいというような御意見もありましたので、この案を示して、学校でも検討をしてもらっているところでございます。

社会教育面では、県内一周駅伝の結団式があつたわけではありますが、2月13日から3日間、恐らく選手の皆さん頑張ってくださいものと期待をしております。ジュニアウインドオーケストラが1月12日の演奏会、すばらしい演奏ができました。10年間続けてきたわけですが、たくさんの成果を得て、今年度をもって事業としては終了をいたします。

そのほかのことについてであります、就学指導を行っているわけではありますが、前回もちょっと触れさせてもらいました肢体不自由の子どもさんの就学指導についてお話ししたわけですが、西川登小学校への入学と、肢体不自由児学級の新設ということで進めております。

それから、12月に実施されました県の学習状況調査でありますけれども、2月上旬には県からの公表があらうかと予想されます。前回申しましたように、県の公表があつた時点で今度の2日の校長会を踏まえて公表を考えているところでございます。

それから、給食フェア。ちょうど本日ではありますが、1月29日のところを見ていただきますと、武雄市立若木小学校の学校給食メニューが文科省と農林水産省の職員食堂でランチ提供ということで取り上げられております。全国から5校ですね。ということで、実は昨日、スーパー食育スクールの話し合いを若木小学校で行ったんですけれども、非常に面白い成果が出ておまして、保護者の方も非常に協力してもらって、我が子の食でありますので、確かに果物とか牛乳とかの脂肪類とか足らなかったなというようなことで、物すごく改善されているというのがわかってきております。最終的な報告がまとまるのが楽しみであるというところです。

以上のことを御報告いたします。

○委員長

ありがとうございました。ただいまの教育長の報告に何か御質問等ございませんか。よろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、次に進みます。

では、議事に入ります。

第28号議案 武雄市体育施設設置条例施行規則の一部を改正する規則。まず、これについての提案をお願いいたします。

○教育総務課長

2～3ページ、第28号議案 武雄市体育施設設置条例施行規則の一部を改正する規則について、議案書により説明。

○委員長

ただいまの第28号議案に提案いただきましたけれども、何か御質問ございませんか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、異議はございませんので、原案のとおり可決いたします。

では、次、第29号議案 平成27年3月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正についてでございます。提案をお願いいたします。

○教育総務課長

4ページ、第29号議案 平成27年3月定例市議会へ提出する教育関係条例の一部改正について、議案書により説明。

○委員長

では、第29号議案でございます。何か御質問、御意見等ありましたらどうぞ。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

そしたら、異議なしと認め、可決いたしました。では、今後よろしく願いいたします。

では、次の報告事項に移ります。

報告事項は2つございます。

まず、1つですが、平成27年3月定例市議会へ提出される教育関係条例の一部改正についてでございます。この報告をお願いいたします。

○教育総務課長

5～12ページ、(1)平成27年3月定例市議会へ提出される教育関係条例の一部改正について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

審議することでもないんですが、何か質問ございますか。よろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、次の学校給食費の改定について、御報告をお願いいたします。

○学校教育課長

13～16ページ、(2)学校給食費の改定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

学校給食の給食についての説明でございました。これも同じく質問がありましたらどうぞ。

○A委員

ちょっと確認ですが、16ページの下のほうに新旧給食費価格というのがありますが、これは当然、幼稚園も4,100円から4,300円ということに、この表は入るんですよね。

○学校教育課長

はい、小学校と同額でございます。

○委員長

ほかに給食費について御質問ありませんか。

老婆心ながら、保護者への周知というのはどういうふうにしてなされるんですか。

○学校教育課長

これまでもPTAの役員会等で話をしてきておりまして、この学校給食委員会及び給食センター運営委員会に保護者の代表が入っております。その中で周知をしながら、内々に打診はしておりましたので、この後、各PTAの委員会、それから役員会あたりで周知をするというふうな運びになっております。

○委員長

各保護者、家庭への通知についてはどうですか。

○学校教育課長

この後、決定しましたら、通知を今度出す予定にしています。

○委員長

その通知はどういうふうに出されるんですか。

○学校教育課長

通知は、教育委員会でちょっとひな形をつくりまして、そのひな形に合わせて各学校長名、給食センターの場合は給食センター長名で出すようにしております。

○委員長

具体的に値上がりをしたかなとか、いろいろ数字的なものを示していただくと納得されるんじゃないかと思います。ただ上げましたじゃ、どうもあれですから、ちょっとそういうのを心配したもんですから、お尋ねしたところでした。

ほかに何か御質問はございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

○教育部長

追加でちょっと御報告を申し上げたいと思います。

きょう午前中、1月の臨時議会がございまして、先ほどちょっと教育長からありましたけれども、新しい教育委員さんが5名ですね、市長のほうから提案されて、議会で同意をされました。それが1件です。

それと、もう1件ですけれども、今度は橘の公民館の建設が決定いたしました。各町の公民館については、ずっと順次建てかえを行っています。今現在、橘が一番古くて45年近くたっています。そういうことで、できればここ二、三年のうちに建てかえることができたかなということでも地元要望等もあっていたけれども、そういう中で、急遽、武内公民館と一緒に、公民館に対する補助金は基本的にないんですよ。そういう中で、森林整備加速化・林業再生事業費補助金というのが26年度の国の補正予算で何とかとれそうだという内示が県のほうからありまして、急遽、臨時議会のほうにお願いをいたしまして、まず、今回、きょうあった臨時議会では、橘公民館の実施設計と、それとあと、地質調査等の設計委託料を1,700万円きょうの議会で承認をいただきました。これは26年度事業ですので、その設計をして、今度3月議会の追加で事業費の予算を組んで、来年の3月までに建設という運びになります。そういうことで、本来、事前に教育委員さんにお話しせんといかんとやっただけですけれども、そういう事情で、急遽、補助金がとれたもんですから、またこれ逃したら歳入なくなりますので、約半分は補助金をいただけます。武内の例でいうと約7,000万円ぐらい入りますから、これを逃す手はございませんので、急遽ですけれども、きょうの臨時議会に提出させてもらいました。ちょっと報告が遅れたことをおわび申し上げます。

以上でございます。

○委員長

ありがとうございます。確認ですが、来年というのは28年ですか。

○教育部長

26年度の補正ですので、26年度の繰り越しということになって、27年度中につくってしまわんといけませんので、日程でいいますと平成28年3月までにつくってしまわないといけませんということになります。ですから、場所等については、今の橘の公民館のすぐ周辺、多分

学校寄りになるのかなと思っています。今、地元の意見等いただきながら話を進めておりまして、規模的にも多分、武内公民館の例が参考になるんじゃないかと考えております。

○A委員

今の公民館を使用しながら、その横のほうにつくるわけですね。

○教育部長

つくってから後で倒すということになるかと思います。

○C委員

今は文部科学省からの補助金というのはないんですか。一切。

○教育部理事

はい。

○C委員

それはいつぐらいから。

○教育部理事

もう大分前からないですね。社会教育施設全般についての補助金がないんですよ。それを県とか国のほうに要望しているんですが、制度があってもなかなか予算がつかないとか、これまでもそういうふうな形でありましたので。

○教育部長

今回の分も農林課の事業費で入ってくるんですよ。農林課のほうで歳入予算を上げてもらって、支出は教育委員会のほうで組むというような形になって、教育委員会の歳入補助金じゃないんですよ。ただそれを活用させていただくということで。

○教育部理事

木材の県産材を利用するということでの補助金です。

○C委員

じゃ、その使用目的とか内容が変わるということはない。

○教育部理事

それはございません。

○C委員

集落営農とかなんとかべったりでつくった自治公民館なんかあるでしょうが。そういうふうなものとは違うんですね。

○教育部理事

施設によって県産材をどのように使うかでありますけれども、私どもとしては、そういう形で橋公民館の建設という課題がありましたので、そこにその県産材の補助金を充てていただいてという形で、県の枠の中を武雄市に配分いただく分を、それとしていただきたいという形です。

○委員長

いろいろ検討してもらえていいことのほうに向かっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

じゃ、報告事項のほうはこれでよろしいでしょうか。

そしたら、次に各課からの報告に移りたいと思います。

では、各課から報告をお願いいたします。まず、教育総務課からお願いします。

○教育総務課長

18ページ、1行事報告、2行事予定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

では、学校教育課どうぞ。

○学校教育課長

19ページ、1行事報告、2行事予定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

では、スマイル学習課どうぞ。

○学校教育課長

スマイル学習課です。申しわけございません、スマイル学習課長が本日、山内西小学校のプログラミング関係、それから、あすの御船が丘小学校の公開授業関係でどうしても手が放せませんでしたので、私がかかわって報告いたします。

20ページ、1行事報告、2行事予定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

では、文化・学習課、どうぞ、関連までお願いいたします。

○教育部理事

21ページ～25ページ、1行事報告、2行事予定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

[青少年育成市民会議の配布物により説明]

○委員長

ありがとうございました。では、図書館・歴史資料館館長お願いいたします。

○図書館・歴史資料館長

26ページ～27ページ、1行事報告、2行事予定、図書館視察対応について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。では、未来課長お願いいたします。

○未来課長

28ページ～29ページ、1行事報告、2行事予定について、平成27年1月 定例教育委員会報告事項により説明〔トムソーヤフェスティバル、ちらしにより説明〕。

○委員長

報告ありがとうございました。

ただいまの報告で何か御質問等ありましたらどうぞ。

○A委員

20ページの下のほうに、3月20日にタブレットに関する説明会、武雄北中学校となっておりますが、これはどういうふうな内容なのでしょう。先ほど3月に保護者の説明会はされるということをおっしゃっておったんですが、これ武雄北中学校となっているものですか。

○学校教育課長

先ほどのタブレットに関する説明会ですけれども、今回中学校への導入でございますので、各中学校ごとに、ちょうどこの時期が年度末のPTAのある日が重なっておりますので、その年度末のPTAにあわせて、スマイル学習課のほうから学校に出向いて保護者様に説明するという段取りにしております。

○A委員

済みません、ちょっと私も勘違いしておりました。失礼しました。ちょっと前に北中学校で一回だけあったものですか。

○委員長

スマイル学習課長がお見えでないですけど、学校教育課長にお尋ねですが、最近、集中トレインというのをされているんですか。それはいつからですか。

○学校教育課長

集中トレインは、12月になってぐらいから始めております。

○委員長

それを実施するのに条件のようなのは何かありますか。絶対これをここまで、このときに毎日これですなさいとか、いろいろなことはあるんですか。

○学校教育課長

集中トレイン、この前、山内農村環境改善センターに川島教授に来ていただきまして、お話をいただきましたけれども、その川島教授の発案によるものでございます。効率を上げるためには、毎朝週4回行ったほうがよいということをおアドバイスいただいておりますので、そういう方向が効率は上がるというアナウンスはしてございます。ただ、学校で実際の運用面になりますと、ほかの行事等もございますので、その細かいところについては校長先生の最終的な判断にお任せしているところでございます。

○委員長

はい、わかりました。その運用については各学校の校長に任せているということですね。

○学校教育課長

はい、最終的にはですね。

○委員長

はい、ありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか。〔「なし」と声あり〕。

きょうはスムーズに進んでおります。次回の開催日程でございますが、2月19日14時から。

では、その他でございますが、何かございませんでしょうか。

○C委員

新しい教育委員さん方が来月からお見えになるということで、別府で教育委員の研修会があったときに、文科省の技監の方が講演の中で言われたんですが、教育委員の会議の中に教育委員の発言のところの議題を30分でもいいから上げたほうがいいという話をされて、会場がちょっとざわついたことがあったんですが、できたら、10名の教育委員ということになると、やっぱり今のような状況の会議の仕方というのは、結局は余り効果がないみたいな感じがするんですね。だから、教育委員が発言できるその提言の枠を、その他ではなしにつくる必要があるだろうと私は思っているんですけど、これは樋渡係長さんもそのときには出席をされておりましたので、おわかりいただいているんじゃないかなと思うんです。その辺、10名の教育委員の提言とか意見が出しやすいような議題の枠をつくってもらえなと思ったところがございます。これが1点。

もう1点は、この間、地区協議会の会長さんと話をおつたら、とにかく学校はもう忙しかばいと。それに、今回みたいなことになると、先生方はちゃんぎり舞いしよるよという話をされまして、私はちょっと返答に窮したところがあるんですけど、実際にそうなのかどうかですね。忙しかというのが、ひとり歩きしよらせんやろかないう感じがしてですね。その辺、反転授業だとか花まるが入ってきた段階と、それ以前の学校の先生方等の労働時間の軽重といいましようかね、その辺のところの調査をしていただいて、この忙しかということがひとり歩きなのかどうか実態を明確にしておく必要がありはせんのかと。特に2学期制をして先生方の労働軽減を凶ったところでもあるし、そういうことで、私、反論的には学校を開いたら先生方が楽になるんですよという話はしているんですが、実態的には地区協議会の会長あたりが、とにかく忙しかよと。そういうことで、それはひとり歩きじゃないですかと言うたところが、ムッとされたんですけどね。その辺で、実態が本当にどうなのか、その辺をちょっと検討していただければなと思ったところがございます。

○委員長

ほかの委員さん方から、今のC委員さんの提案についていかがでしょうか。

○B委員

そうですね、今、1つ目におっしゃった意見を言える場所であるとか、そういったことについては、大変賛同の気持ちでございます。

と申し上げますのは、やはりなかなか気持ちを出していくということが非常に難しい中で、ただ、やはりそこを出さなければ10人にしていく意味も恐らくないのではないかと思いますので、ぜひそういった形、環境というものを考えていただけたらと思います。

○委員長

A委員さんどうぞ。

○A委員

私、2点目の先生方の労働時間の問題ですが、前市長が教育改革ということで一生懸命やっておられまして、今度の小松新市長も継承されるということでございますが、せっかく教育改革をしていながら、先生方の労働負担がふえて、先生方のやる気がどうも低下していくということになれば、またいろいろ問題も出てくると思いますので、そういう実態調査等については、確かに一回はする必要もあるんじゃないかとは思っています。

○委員長

4月からでしょうか、10人になるということからすれば、やっぱりそういう何か議題を出して、それについていろいろ協議をするということは本当に必要かと思えます。

それから、学校現場の多忙化について実態調査というのは、これは徳永課長さん、時々しているのでしょうか。

○学校教育課長

数値化としてあらわしているわけではないんですけども、いろいろ先生たちの感想を聞いたりしております。現実的にスマイル学習をするに当たりまして、教材の準備かれこれがありましたので、その面に関して先生方の負担が以前より増しているというのは、これはもう事実でございます。

ただ、今年度、来年度に関しましてちょっと頑張ると、それ以降につきましては若干軽減できるかなということと、もう1つは、やらされ感ではなくて、先生たちが主体的に働こうとしている部分に関しましては、本当はいけないんですけど、多少勤務が窮屈になってもやる気を持っていただけるというのも、これもまた事実でございます。

スマイル学習、それから官民一体型学校に関しまして、最初は手探りの状態、何もわからないものでしたので、先生方に関しても不安が大きかった。しかし、研修を重ねるに従って、また回数を重ねるに従って、手応えというものを感じておりますので、特に官民一体型学校につきましては、モデル校であります武内小学校の先生方は、子どもたちが目に見えて変わっているということを目の当たりにして、自分たちがやっていることの正しさというのを実感して、それがやる気に今つながっております。

また、きょうも、山内西小学校の1年生でプログラミング学習を行っておりますけれども、担任の先生方が3人も女性の先生で、本当にプログラミングのブの字も知らない方だったんですけれども、子どもたちと一緒に取り組んできて、子どもたちが目に見えて反応がよくなっているということを実感されて、子どもたちの楽しむ顔が見たいということで、私からするとかなり無理をしてやられているんじゃないかなと思うんですけれども、それは本当に自分たちのやる気の中でやっていっているという感じがございます。

したがいまして、確かに今回、スマイル学習及び官民一体型学校を開始するに当たりまして、時間的に厳しくなった部分があったのは事実でございますけれども、それが子どもたちの変化に対して先生たちのやる気、充実感にかわるよう、それが多忙感にはつながらないようにしたいなと思っています。もちろん先生たちの勤務時間をきちんと管理して、本当に勤務時間が超過しないように指導していくのが教育委員会の役目でございますので、今後ともそんな方向で、指導、また考えていきたいと思っていますのでございます。

○委員長

教育部長、何か。

○教育部長

先ほど1点目の、教育委員さんの提言の場ということでちょっと今考えているのが、確かに10人になって、ただ4月から新しく制度が変わります。そういうことで、新教育長と教育委員さんで構成しますので、新教育長さんなりの意見を聞きながら、基本的には30分ぐらいのおっしゃった枠でいろんな意味で提案を出してもらおう。それとかあと、何もないうきは、こういうものについてのいろんな意見交換枠とか、そういう形の枠をですね。ただ、提言を出してもらおう分にも、そのときぽつと言われてもなかなか勉強できませんので、事前に連絡いただいといて、今回はこれをしましょうかとかいう感じで持っていければなということを考えておりますので、今度2月からふえたからすぐというのは、ちょっとまだあれですので、新しい制度になったところで、新たな教育委員会の会議の持ち方をあわせて検討してまいりたいと思います。

○委員長

今、教育部長からの回答がありましたように、ちょっとそういう試みをしてみたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員

はい、賛成です。

○委員長

それから、今現在しているのも限られた時間の中で、ややもすれば、それは追認の会議になってはおりますけれども、それぞれの教育委員会の部課長さんたちが取り組んでいただいている分で一応お任せする、じゃ、お願いしますという、そっちのほうが私の気持ちは大き

くて、その他のそういう話の場というのは設けておりませんでした。しかし、今の提案で、次からは教育部長がおっしゃったように会議のほうを持っていきたいと思っております。

それから、学校の多忙化で、小学校、中学校、私たちはそっちばかりしか見ないからかもわかりませんが、本当に小学校なんかは休み時間がないぐらい先生たちは子どもの相手をしなければならないような状態です。いろんな家庭環境から来るし、また、子どもたちもいろんな性格を持っている。そして、もちろん学力を上げなければいけないということもあって、普通に学校を訪ねていったときには校長、教頭、もしかしたら校長だけいるとか、養護の先生が職員室にいて電話番をしていますとか、ほかのところで会議があるけれども、先生方がどうしても子どもたちのために出張できないから、「養護の先生、かわりに研修に参加して」とか、「教頭さん研修に行って」とか、どうかすれば校長がかわりに来ましたということもあったりします。そして、最近は学力向上のために、クラスの担任の先生以外の級外の先生たちが、「きょうはあの学年のあの子たちに行こう」と言って、放課後とかに指導に行ったりもしておられるんです。そのようにして、先生方が基礎学力をつけなければいけないとって一生懸命して、自分たちでしておられるから、本当に私は多忙だと思います。

そして、最近よく聞くのは、保護者対応がとても複雑になってきているから、どうかすれば子どもたちの対応がおろそかになるときさえあるということも聞いたりしております。保護者対応がとても難しく、この前もある学校で保護者が訪れて、担任が授業に行かんばいかんて言ったら、校長、教頭を相手に半日中おんさったということとかですね。そういうふうにして、保護者対応もまた大変で、中学校は生徒に対する対応がずっと続いているというような、毎日休み時間なく続いているという状況もあるし、多忙だという感じがいたします。

実態調査というのも学校教育課が時々していただいている分だけしか把握できないのかな、実際に行ってみて聞いていただいたほうがよくないかなという感じもしたりしますけれども、これが数値的に、なかなか出せないような、多忙ですね。

これは武雄市内の小・中学校の多忙化ということに関する私の見方ですけれども、そういう見方をしております。本当に子どもの多様化、保護者の多様化ということが拍車をかけているですもんねということも先生方からちよくちよくは聞きます。

今度、学校の多忙化のことで調べられたときに、それをまた資料として出していただくようにして、そしてまた、それについて今のようなお話をしたらどうでしょうかね。

〇〇委員

特に言われているのが、その多忙化の中で先生方が子どもと接しているときには、そんなに負担感とか多忙感はあるまいと言いますね。それ以外の仕事が入ってきたときということで、その以外というのがどのようなものあたりがあるのかですね。そういった点では、その辺のところを処理できる方法とかなんとか、あるいは簡便にやりやすいようなことだとかを考えていく分野があれば、その地区協議会の会長さんあたりにもある程度の話と

か、指導だとか、実はこうなんですよということは言えるんじゃないかなと思います。

特にきのう、私、佐賀県の明るい選挙推進協会の委員になっておりまして、その会議がありまして、その中でも今回の選挙の結果だとかなんとかを踏まえながら、武雄は忙しかろうという話が蔓延しているのは事実であるんですね。そいけん、その辺のところも、今、よしにつけ、あしきにつけ、武雄市の教育については注目の的になっておりまして、その辺のところは少しばかり考えておく必要があるはしないかなと思ったところです。

○委員長

今後、留意しながらお願いをしたいと思います。また、今後いろいろなこういう会合のときに、そういう面からもほかの委員さん方も見ていただければと思います。

ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

そしたら、年度末のまとめの時期に入ると言いながらも、まだまだいろいろな行事等、それぞれの課でしていただいているようでございます。本当に御苦労さまでございます。この26年度がまた効果があったと言えるように、最後までお務めいただきたいことをお願いしまして、1月の定例の会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

午後3時13分 閉会